

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

8月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

乳腺外科の紹介

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のことお慶び申し上げます。

このたび『つばさ』へ寄稿の機会をいただき大変光栄に存じます。

2022年4月より、約20年前につくられたブレストチームを長年つとめておられた諸先輩方から引き継ぎ、早くも3年が経過いたしました。



乳がん診療は年々高度化・個別化が進み、新たな治療が次々に承認される状況が続いています。外科治療においても、乳房再建や遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する予防切除、切らないラジオ波焼灼療法が保険収載され、選択肢は大きく広がっています。患者さんにとっては治療の進歩は大変喜ばしいことですが、その一方で乳がん診療医の担う役割や責任も確実に増加しております。告知や治療法の相談に要する時間は、体感として以前の倍近くになっている印象です。

本来は大学より常勤医を派遣し、当センターですべての治療を完結することが理想ではありますが、現在のところ地域医療を十分に支えられるだけのマンパワーを確保できていないのが現状です。しかしながら、

週1回の外来で手術と放射線治療以外の治療（一部薬剤を除き）をほぼすべてカバーすることができる体制を整え、地域における乳がん診療に取り組んでおります。昨年度からは医師事務作業補助者を外来に配置いただいたことで、医師や看護師のタスクシフトが大きく進み、より充実した診療が可能となりました。これもひとえに、外科をはじめとする院内の先生方、スタッフの皆さんのご理解とご支援の賜物です。

また、年々増加する患者数により外来診療が逼迫し始めたことから、昨年は山鹿近隣の医療機関の先生方に、診療連携に関するアンケートをお願いさせていただきました。多くのご回答を賜り、実際に患者様の連携を受け入れてくださった先生方には心より御礼申し上げます。



今後とも、皆様のお力をお借りしながら、地域に根ざした乳がん診療を着実に進めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

(文責：乳腺外科医師 富口 麻衣)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

乳腺外科の紹介	P 1
8月4日は『栄養の日』・8月31日は『野菜の日』...	P 2
医療最前線 (167)	P 3
外来担当医表 (8月)	P 4

8月4日は『栄養の日』・8月31日は『野菜の日』

8月4日は「栄養の日」で、8月1日から7日までの1週間は「栄養週間」とされています。

熊本県は糖尿病患者数と糖尿病の疑いがある人の割合が全国平均よりも高い傾向にあります。特に、人口100万人あたりの新規透析患者数が全国最多

で、その原因の多くが糖尿病の重症化による糖尿病性腎症であることから、糖尿病の発症予防と重症化予防が重要な課題となっています。糖尿病だけでなく、高血圧など他の生活習慣病の患者数も全国平均より多い傾向にあります。

生活習慣病の原因として、食生活の乱れがあり、野菜摂取不足が課題の1つに挙げられます。1日の野菜摂取目標量は350gとされており、熊本県民の平均摂取量も約100g不足している状況です。毎年8月31日は「や(8)さ(3)い(1)」の語呂合わせから、「野菜の日」であり、野菜の摂取を促し、健康増進や生活習慣病予防につなげる取り組みが県内でも行われています。



ひと口目は野菜から あと一品も野菜から 野菜くまもり運動



©2010 熊本県くまモン

当センターでも1日350g以上の野菜を使用し、彩りや食材の被りがないよう心がけながら、献立作成・食事提供を行っております。

今後も地域住民の皆様や患者様の疾病治癒促進や

健康増進に貢献できるよう、尽力して参ります。

また、入院・外来での栄養食事指導も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

(文責：栄養科 平山 育実)



原稿を募集しております

詳しくはおたずねください。

送付先

〒861-0593 山鹿市山鹿511番地
山鹿市民医療センター 地域医療連携室
TEL 0968-44-2185 (代表)

ホームページをご利用ください。
病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

医療最前線 (167)



骨粗鬆症の診断と治療介入

整形外科医長
樽美 備一

骨粗鬆症は加齢に伴って進行しやすく、特に高齢女性では閉経後のホルモン変化により骨量が急激に減少し、80代では約半数が罹患しているとされます。無症候性のことも多く、骨折を契機に初めて診断されるケースも少なくありません。しかし、脊椎圧迫骨折や大腿骨近位部骨折など、骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折はQOL (Quality Of Life) を著しく低下させ、要介護状態や寝たきり、さらには死亡率の上昇に直結することが報告されています。とくに大腿骨近位部骨折を起こした高齢者の1年死亡率は20～30%とも言われており、予防的な介入の重要性は年々高まっています。

骨粗鬆症の診断には、日本骨代謝学会の診断基準が用いられます。

以下のいずれかに該当する場合に骨粗鬆症と診断されます。

Ⅰ. 脆弱性骨折がある場合

1. 椎体骨折または大腿骨近位部骨折がある。
2. その他の脆弱性骨折（肋骨、骨盤、上腕骨近位部、橈骨遠位端、下腿骨など）があり、かつ骨密度がYAM（若年成人平均値）の80%未満

Ⅱ. 脆弱性骨折がない場合

骨密度がYAMの70%以下または-2.5SD以下

特に注意すべきは、骨密度が一見保たれているように見えても、既に脆弱性骨折を起こしている場合には、骨粗鬆症と診断される点です。「背中が曲がってきた」「以前より身長が縮んだ」という訴えのある高齢患者では、画像検査で骨折が見つかることも少なくありません。

当センター整形外科では、外来にてDXA法による骨密度測定、骨代謝マーカー（TRACP-5b、PINPなど）による骨代謝評価、MRIによる椎体骨折の精査などを行っております。治療においては、ビスホスホネート、SERM（選択的エストロゲン受容体調節薬）、活性型ビタミンD製剤、テリパラチド、デノスマブ、ロモソズマブなどから患者の年齢、ADL (Activities of Daily Living)、既往歴、服薬状況に応じて適切な薬剤を選択しています。

さらに、加齢や認知症、独居などにより内服管理が難しい患者さんに対しては、半年に1回のデノスマブ皮下注、月1回または週1回の簡便な経口剤への変更、骨折後の治療再導入など、実臨床に即した柔軟な対応を行っています。骨折後の介入タイミングのご相談や、薬剤選択に悩まれる場合の治療方針のご提案のみのご依頼にも対応可能です。

骨密度が気になる患者さん、脆弱性骨折の既往があるのに治療を受けていない方、薬剤選択に迷われるケースなどがあれば、ぜひ当科へご紹介ください。DXA法による骨密度測定のみでも承っております。地域の医療機関の先生方と連携しながら、骨折予防とADL維持に取り組んでまいります。

第8回 市民公開講座のご案内

泌尿器がんを知ろう！～腎臓・膀胱・前立腺がんの診断と治療～

入場無料 事前の申込不要

【日時】令和7年 9月27日(土)

【開場】13:30 【開演】14:00

【会場】山鹿市民交流センター 文化ホール

Ⅰ. がん総合的診療チームの紹介

- ① がん検診
山鹿市民医療センター 地域健診室 保健師 高山 真紀
- ② がん治療と栄養
山鹿市民医療センター 栄養科 管理栄養士 永田 美華
- ③ がん相談支援センター
山鹿市民医療センター がん相談支援センター
看護師長 豊福 貴子

※健康チェック・相談（質問）コーナーもあります。

Ⅱ. 泌尿器がんを知ろう！
疫学、予防から早期発見まで

山鹿市民医療センター泌尿器科 科長 中村 圭輔

Ⅲ. 前立腺がんの診断と治療

- ① 診断と局所治療
山鹿市民医療センター 泌尿器科 医師 今藤 淳之助
- ② がんと長く付き合う時代の薬物療法
熊本大学大学院 生命科学研究部
泌尿器科学講座 教授 神波 大己

Ⅳ. 緩和ケア病棟のご紹介

山鹿市民医療センター緩和ケア病棟 認定看護師 見崎 由紀
挨拶（まとめ）：病院事業管理者 別府 透

主催：山鹿市民医療センター

共催：山鹿市

後援：熊本県山鹿保健所、一般社団法人鹿本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

電話(代表) 0968-44-2185 FAX 0968-44-2420

<http://yamaga-medical-center.jp/>

外来担当医表

8月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 古川 嗣大	※ 赤池 公孝	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※ 宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹熊 梨祐	本原 利彦	中垣 貴志 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※ 中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 備一 山口 裕介	工藤 智志 湯本 みずほ 樽美 備一 / 山口 裕介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河 隆敏 / 増田 稔郎 辛島 龍一 / 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 辛島 龍一
乳腺外科(予約制)	—	※ 富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※ 神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※ 石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) 非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※ 片渕 美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★ 非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡 明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

8月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	担 当 医	—	Aブロック
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	毎週 水曜（受付時間13:30～16:00）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆睡眠時無呼吸外来については、現在新規予約の受け付けをおこなっておりません。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>